

高校生講座企画案

1 開催目的

- (1) 進路指導に特化しない生き方教育としての、高校生のキャリア教育の充実を図る。
- (2) 被災地出身者として、被災体験を自身の将来の生き方にどのように反映させていくか考えさせる。
- (3) 高校生の主体的な活動による交流の場とする。
- (4) 地域が関わるキャリア教育の方法として提案する。
- (5) 近い将来、教員として教育に関わる大学生の学びの場とする。

- 2 開催日時 2016年1月31日(日) 9:00~12:30(13:00)
- 日程 9:00 準備(会場~大学関係者・受付~儀間・控室~久保木)
- 9:25~9:30 開会
- 9:30~10:30(60分) 講座(30分×2)
- 10:40~12:10(90分) ワークショップ
- 12:10~12:15 閉会
- 12:15~13:00 片付け

- 3 開催場所 仙台市生涯学習支援センター 第2セミナー室(定員70名)
- 〒983-0852 宮城野区榴岡4丁目1番8号
- TEL022-295-0403 FAX 022-295-0810

4 開催内容

(1) 講座講師(予定)

- 千葉伸一(歳) 松島町「松華堂」元「カフェロワン」オーナー
- ・観光地の中で、生活者の立場でコミュニティづくりに取り組む
 - ・震災(津波と地震)からの復興
 - ・復興を、成長より成熟と捉える
 - ・東北だからこそそのライフスタイル
- 小川直人(歳) せんだいメディアテーク学芸員
- ・クリエイティブな仕事とは
 - ・開館当時からsmtにかかわってきた
- 御手洗瑞子(可能なら) 気仙沼ニッティング社長

(2) ワークショップ

ニードル

大学生

※生涯学習センター主査

5 対象

宮城県内普通科高等学校 1, 2 年生

東松島高等学校・仙台高等学校・石巻西高等学校・仙台商業高等学校

多賀城高等学校・宮城第一高等学校・仙台第三高等学校・仙台青陵中等教育学校

定員 40 名

6 事前打合せ

打合せ ①ニードル (ティーライズ)

②生涯学習センター主査 (山口・)

③講座講師 千葉

小川

案内チラシ (申込書) 作成・郵送

参加申し込み締め切り 1/27

予行ワークショップ 1/

7 スタッフ (関係機関)

(1) ニードル

(2) 生涯学習センター主査 (山口主査・)

(3) 田端教授・梨本教授及び学生 (10 名)

(4) 宮城教育大学教育復興支援センター・事業事務局

8 役割分担

・企画調整 内藤

・渉外 野澤・庄子・堀越

・進行 内藤

・接待 久保木

・受付 () 儀間

・会場 藤原・庄子・堀越・内藤

・記録 川村・湯田・福富 → 報告書作成

・ワークショップ 田端・梨本

・経理 藤原